

平成25年第1回帯広市公営企業経営審議会 議事録要旨

日 時 : 平成25年2月22日(金) 午前10時

場 所 : 帯広市役所10階第5B会議室

議題(1) 平成25年度予算概要について

- | | |
|-----|--|
| 委員 | 内部留保資金について、単年度決算の中で出てきたものなのか、過年度からの積み上げなのか。 |
| 事務局 | 内部留保資金は資本的収支の不足財源として用いており、単年度だけのものではなく、過年度分からの積み上げになっています。 |
| 委員 | 管渠設備の長寿命化事業について、耐用年数を経過した設備の更新等についてどのように考えているか。 |
| 事務局 | 「おびひろ上下水道ビジョン2010」の計画に基づき事業を進めていますが、基本的には布設した年数が古いものから優先的に更新していく考えで事業を行っております。 |
| 委員 | 消化ガス発電設備整備事業が自家発電・自家消費型の事業計画になっているのはなぜか。 |
| 事務局 | 消化ガスによる発電事業を行い、発電した電気を売電する場合は国の補助事業の対象外となってしまうということがあります、補助金を受けて発電した電気を自家消費する場合と、補助金は受けずに単独事業として売電を行う場合とで試算した結果、補助事業として行った方がメリットが大きいと判断したためです。 |
| 委員 | 冬になると道路に積もった雪がマンホールの部分だけ融けるために、その部分が窪んで車で走行する際に危険を感じているが、何か対策は行っているのか。 |
| 事務局 | 下水道課や道路管理者が砂袋等で応急処置をしている現状ですが、現場では実験的にマンホールの蓋の内側にスタイロフォームを入れて下水道管内部の温かさが蓋に伝わらない方法を検討しているところです。 |

委員 予算の説明資料を見ても市民にとっては理解しづらい部分が多い。広報等に掲載する際に誰が見ても分かりやすいように工夫して欲しい。

事務局 広報等に掲載する際には市民のみなさんにとって分かりやすいものになるように配慮していきたいと思います。

委員 平成24年度の決算見込と平成25年度の予算の数値を比較すると、給水人口、給水戸数ともに増加しているにもかかわらず、年間総給水量は減少しているのはなぜか。

事務局 給水人口が増加しているのは、平成24年7月から人口の集計方法が変更になったことによるものです。給水戸数については世帯分離等人口にかかわらず世帯が増えていることによるものです。年間総給水量の減少は節水等の取り組みが市民の方に浸透し、節水型の家電が普及してきたことによるものです。

議題（2）水道バックアップ契約の締結状況について

委員 条例の対象となる事業者のうちの2者から昨年12月に市議会議長宛てに要望書が提出されたが、今後の対応等についてどのように考えているか。

事務局 この契約は法的拘束力のない相手方の理解に基づく任意のものですが、今後も水道事業経営という部分を踏まえて、未契約の事業者との協議を続けていきたいと考えています。

また、国や北海道に対して地下水等による専用水道の利用に係る法的整備についても引き続き強く要望していきたいと考えております。

委員 バックアップ契約を締結していない事業者に対して給水停止命令はできるのか。

事務局 帯広市水道事業給水条例ではそこまでの強制力を持っていないため、給水停止命令はできません。